織田信長公の居館跡
発掘調査現地公開

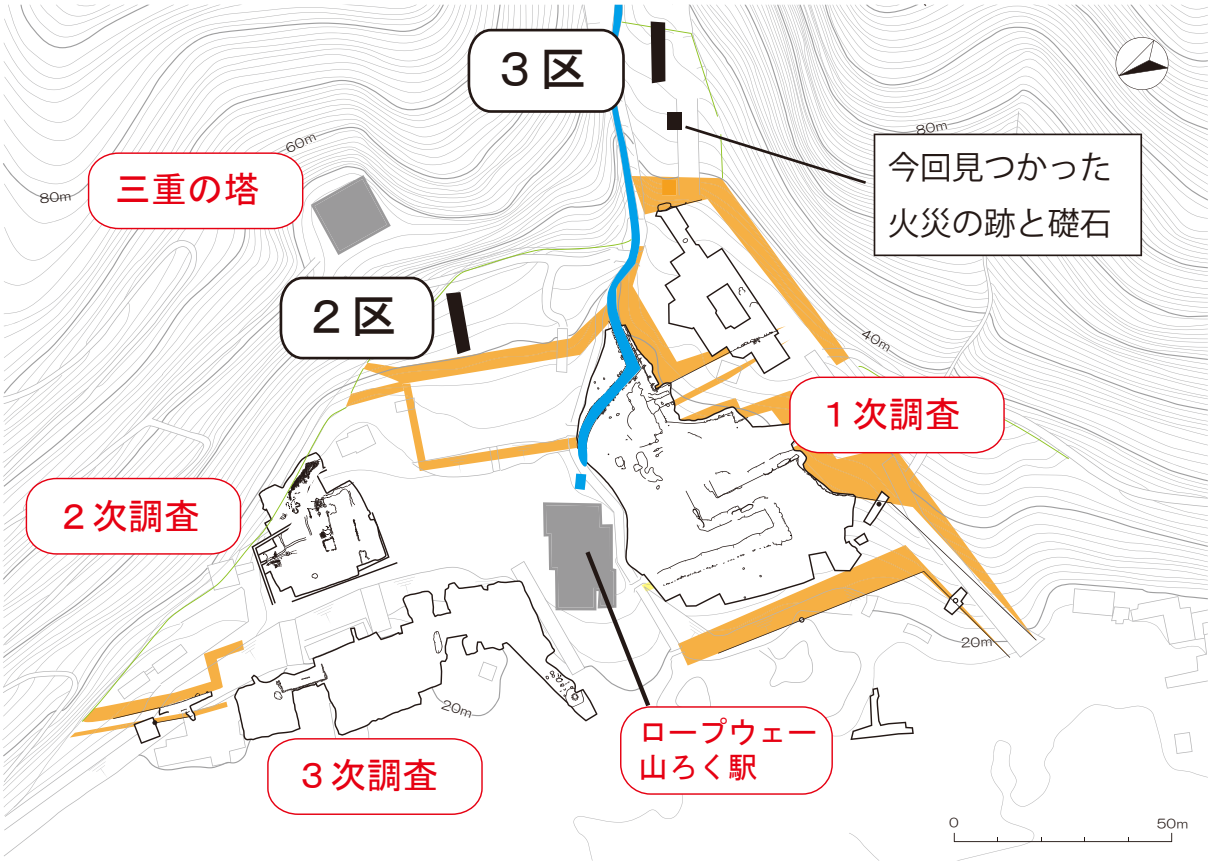
2007年12月22日（土）

13：00～15：00

岐阜公園は織田信長が館を構えた地として知られています。ちょうどいまから 440 年前、信長は美濃を治めていた斎藤道三の孫、龍興（たつおき）を追放し、みずからの本拠をこの地に移したのでした。それから２年後の永禄１２（１５６９）年、岐阜を訪れたポルトガルの宣教師ルイス・フロイスは、その記録の中で信長の館を「宮殿」と称し、華麗な内部の様子を紹介しています。信長居館跡の入口部分は発掘調査の結果復元整備され、現在見学することができますが、館の姿や配置など居館の多くの部分はまだ謎のままです。

岐阜市では、建物の位置や構造を調べる発掘調査を開始しました。今年度は遺跡全体の概要を把握するために、最小限の調査区を設けて内容の確認を行っています。

今回の調査位置



岐阜市教育委員会
(財)岐阜市教育文化振興事業団

信長の岐阜まち発祥440年

火災の跡と建物の礎石を確認―3区の調査成果―

３区は岐阜公園でも一番奥に位置する２段の平坦地です。普段は誰も立ち入らないこの場所で、上段と下段の２箇所に調査区を設け、調査を行いました。

近現代の砂礫土を掘り下げたところ、赤く焼けた建物の壁土からなる焼土層を確認しました。焼土層の厚さを確認するため一部だけ掘り下げたところ、60cm 下から炭の層と礎石が見つかりました。礎石と建物の壁土を確認したことから、下段平坦地には確実に建物が存在していたことが明らかになりました。これまで未調査だった場所で、火災で焼けた建物跡が良好な状態で残存していることが判明した点で大きな成果といえます。

3 区下段の建物跡は、 礎石と壁土がみつかったことから現在のところ茶室か蔵の可能性が考えられます。茶室の場合、谷の岩肌を借景に庭園があったことも想定されますが、厚い壁土は蔵によく似ています。

・焼土層が 60cm の厚さで堆積、は壁土が多量に出土した。
・壁土の厚さは６、7cm。
・焼土層の下には炭層があり、幅 25 ㎝程度の大きさの礎石を確認した。礎石上面にも薄く炭が堆積していた。
・礎石は１基だけなので、建物の規模や方向、性格については不明。
・炭層下の床面はあまりしまりがなく、土間状ではないようである。
・上段には焼土などはなく、様相が異なる→上段から動かされた焼土層ではない。
・遺物から焼失年代は特定できないが、その後この場所に遺構が造られていない点を考慮すると、1600 年の関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城が落城した際の火災の可能性がある。

二階には婦人部屋があり、その完全さと技巧では、下階のものよりはるかに優れています。部屋には、その周囲を取り囲む前廊があり、市の側にも山の側にもすべて中国製の金襴の幕が懸り、（山の側では）小鳥のあらゆる音楽（が聞こえ）、きわめて新鮮な水が満ちた他の池の中では鳥類のあらゆる美を見ることができます。三階は山と同じ高さで、一種の茶室が付いた廊下があります。それは特に精選されたはなはだ静かな場所で、なんら人々の騒音や雑踏を見ることなく、静寂で非常に優雅であります。三、四階の前廊からは全市を展望することができます。

ルイス・フロイス『日本史』松田毅一・川崎桃太　訳

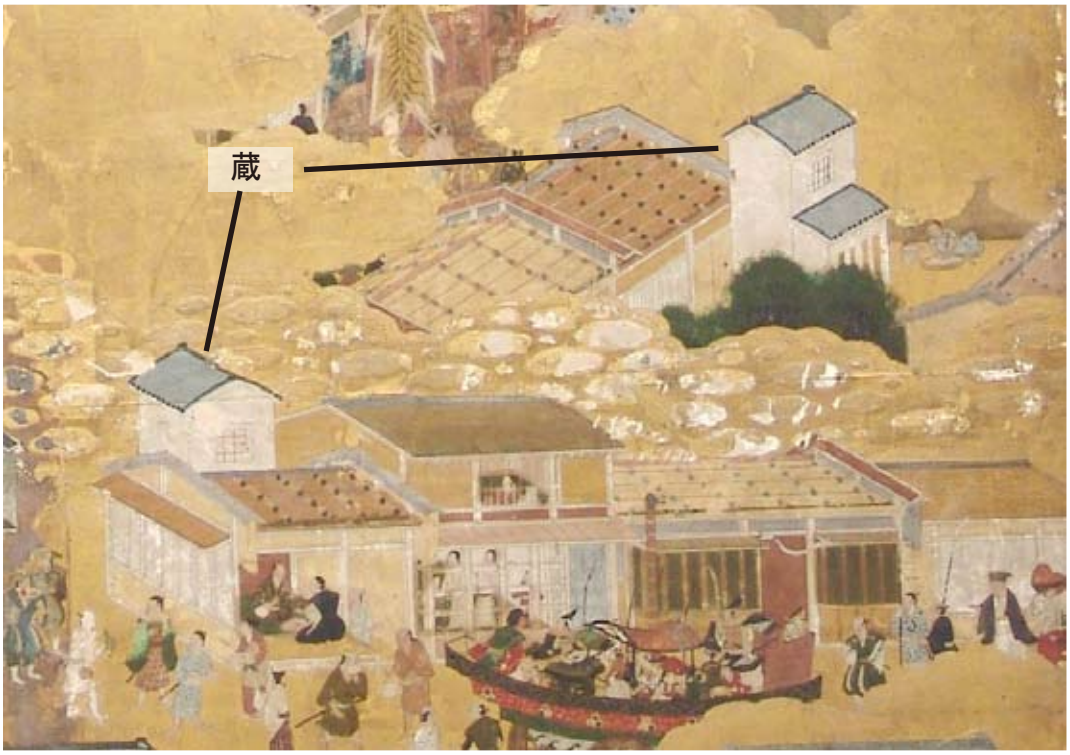
ポルトガルから来た宣教師
ルイス・フロイス （当時 37 才）

３区下段を東から見たところ。全面に焼土層が確認できます。真ん中の穴は明治以降のゴミ穴です。この穴を広げて部分的に掘り下げたところ、礎石を確認しました。

中央にあるのが建物の礎石です。周囲には炭があり、火災の様子がうかがえます。焼土層には焼物などはほとんど含まれていませんでした。瓦もないところをみると、建物の屋根は板葺きだったのかも知れません。

みつかった建物の壁土です。わらの跡も確認できます・厚さが通常の壁よりかなり分厚いので、蔵のような壁の厚い建物の存在が考えられます。

建物跡の場所からみえる谷の岩肌



みつかった壁土は蔵のような壁の厚い建物をイメージさせます。

「洛中洛外図屏風」にみえる蔵
（岐阜市歴史博物館蔵）

3区上段でも遺構を確認

調査区の中央部分は、近代以降の工事等で地面が削られていましたが、部分的に人為的に埋められた川原石などを確認しました。また一段階古い地面を確認しており、少なくとも２時期の地面があったことが分かりました。この上段部分の性格は今回の調査ではわかりませんでしたが、少なくとも戦国時代には平坦地として造成され、信長居館跡の敷地範囲に含まれていた可能性を確認できました。

３区上段西側では粘質土の中に川原石が埋まっていました。明らかに人為的なものですが、用途は現在のところ不明です。

左の川原石部分を一部掘り下げたところ、一段階古い石組みの溝状遺構が見つかりました。溝として使わなくなったときに、粘質土と川原石で埋めています。

発掘情報はブログで公開中！
http://nobunaga-kyokan.jp

問合せ先：岐阜市教育委員会 社会教育室
058-265-4141（内線6357）